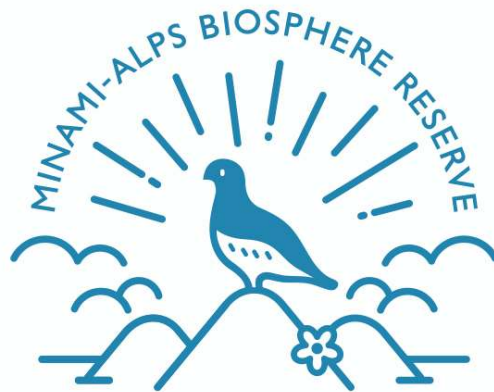


南アルプスユネスコエコパーク
管理運営計画（静岡市域版）

後期実行計画 年次報告書
（令和 6 年度）



南アルプス
ユネスコエコパーク

令和 8 年 1 月
静岡市

《目 次》

1	はじめに	1
2	評価指標の状況	2
3	令和6年度の実施内容	3
1	自然環境の保全（生物多様性の保全の機能）	3
2	調査と教育（学術的研究支援の機能）	9
3	地域の持続的な発展（経済と社会の発展の機能）	15
4	理念の継承と管理運営体制の構築 （3つの機能を支える連携機能）	30
4	関連組織の活動状況	31
5	モニタリング実施状況	36
6	後期実行計画 総合分析	44

1 はじめに

この年次報告書は、「南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画（静岡市域版）後期実行計画」（以下、「後期実行計画」という。）に掲載した事業の進捗を把握し、適切な見直しを行うとともに、市民をはじめとした多くの方に、本市における南アルプスユネスコエコパークの取組をお知らせするために発行するものです。



登録 10 周年アニバーサリーイベントの様子



登録 10 周年記念大会の様子

2 評価指標の状況

本市では、南アルプスユネスコエコパークの取組を推進するにあたり、4つの基本方針の柱を掲げています。

実行計画では、この柱に基づき実施する事業の評価指標を掲げており、その進捗を次に示します。

【凡例】◎：達成（R6最終目標） ○：概ね達成 △：要調整 ×：達成困難

基本方針の柱	評価指標・令和6年度目標値	達成状況	
		令和5年度	令和6年度
自然環境の保全	ライチョウが市内に生息している人の割合 47%（令和4年度） → 50%	53%	55%
		◎	◎
	南アルプス主要地域の高山植物種数 37種（令和4年度） → 37種	38種	35種
		◎	○
調査と教育	南アルプスモニタリング調査の実施と公表 （生活環境、自然環境、学術的調査・教育、社会状況） 毎年度実施と公表	実施・公表	実施・公表
		○	◎
	南アルプスユネスコエコパーク出前授業受講児童の、南アルプスユネスコエコパークの自然や文化について周囲の人に学んだことを伝えた人の割合 76%（令和4年度） → 80%	75%	75%
		○	○
地域の持続的な発展	市が地域住民・団体と協働実施した事業及び地域主催の地域振興事業 15事業（令和4年度） → 21事業	18事業	21事業
		△	◎
	井川地域内施設入込客数 105.7千人（令和4年度） → 120.0千人	101.1千人	103.1千人
		△	△
体制の構築と理念の継承	南アルプスユネスコエコパークの認知度 48%（令和4年度） → 54%	52%	54%
		○	◎

3 令和6年度の取組内容

1 自然環境の保全（生物多様性の保全の機能）

（1）南アルプスの自然環境の保全

南アルプスの自然環境の保全を進めるうえでの考え方を示している項目であるため、個別事業は掲載しない。

（2）つながりを意識した一体的な保全

1）連携・協働体制の強化

組織No. 5	南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会	P 32
組織No. 6	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 33

2）来訪者のルールづくりと啓発活動の推進

事業No.19	静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業	
組織No. 5	南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会	P 32
組織No. 6	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 33

【事業No.19】 静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業

① ホームページによる啓発

「静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例」に関する情報（条例制定の目的、適用を受ける林道、通行許可に関する情報、禁止行為、通行規制等）を静岡市ホームページに掲載し、条例の啓発を行った。

また、ホームページに条文、林道地図、通行許可に係る審査基準、林道規制情報等のリンクを貼り、関連する情報に容易にアクセスすることができるようにするとともに、林道規制情報は、冬期閉鎖終了後速やかに情報を更新し、利用者に最新の通行情報を提供した。

② 林道標識設置による啓発

南アルプスユネスコエコパーク登録地域内設置している林道標識（18箇所）により、通行にかかる注意事項や禁止事項を通行者に周知するとともに、南アルプスユネスコエコパークのロゴマークを表示し、普及啓発を図った。

なお、林道東俣線の林道標識については、条例で通行許可が必要であることを明記している。

(3) 高山帯から山麓に広がる自然環境の保全

1) 高山植物の保護に向けた取組の推進

事業No.11	高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）
事業No.17	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

【事業No.11】 高山植物保護事業

① 防鹿柵の設置・維持管理

ニホンジカの食害等から高山植物を保護するため、防鹿柵の立上、養生撤去、維持管理及び柵内の植生調査等を行った。

〔設置状況（令和6年度時点）〕

- ・中岳避難小屋周辺（クロユリ群生地）：約189m²
- ・千枚小屋周辺（オオサクラソウ生育地）：約6,705m²
- ・熊の平小屋周辺 ※植生復元試験設置：約3.84m²



クロユリ



オオサクラソウ



防鹿柵の設置状況

② 高山植物保護セミナーの開催

高山植物保護に取り組む人材の育成、環境保護意識の向上のため、市内高等学校の生徒を対象に、高山植物やニホンジカによる食害等を学ぶ学習会を行い、防鹿柵の維持管理等を体験する現地セミナーを開催した。

現地セミナーでは実際に南アルプスの高山帯へ足を運び、高山植物保護の実態について触れる機会を創出している。

〔現地セミナー概要〕

- ・開催日：令和6年10月26日（土）～27日（日）
- ・参加者数：1校2人（静岡聖光学院）



事前学習会



現地セミナー



事後学習会

【事業No.17】 中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業

中央新幹線建設事業の進捗状況に併せて、主要発生土置き場予定地の植生回復にかかる市民参画型の環境保全事業について、専門家を交えて検討を行った。

2) ライチョウの保護に向けた取組の推進

事業No.12	ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	
組織No. 6	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 33

【事業No.12】ライチョウ保護事業

① ライチョウの生息状況把握調査

環境省が文部科学省と農林水産省と共同で策定した「ライチョウ保護増殖事業計画」では、今後の取組目標として、生息状況や減少要因の把握が挙げられていることから、ライチョウの保全に向けた検討や、増殖計画を補完するものとして活用するために、生息地の南限である南アルプス南部（静岡市域）におけるライチョウ生息状況調査を行った。（結果概要は、P36「5（2）モニタリングの概要」を参照）

【調査概要】

- ・調査場所：南アルプス南部（上河内岳～イザルガ岳周辺）
- ・調査時期：令和6年5月～10月

② 普及啓発事業

ライチョウの普及啓発を図るため、南アルプス関連イベント（市民ギャラリー、環境フェスタ、10周年記念大会、生涯学習施設等）にてパネル展示等による情報発信を計13回実施した。

③ ライチョウサポーターズ制度の運営

ア) フォローアップ研修の実施

認定したライチョウサポーターを対象に、南アルプスやライチョウに関心を持ち続けてもらうため、「ライチョウ勉強会」を実施した。令和6年度は、南アルプスユネスコエコパーク10周年記念大会のイベント内で開催した。

【研修概要】

- ・開催日：令和6年12月14日（土）～15（日）
- ・会場：静岡市民文化会館
- ・参加者数：50人程度

イ) ライチョウサポーター通信の配信

ライチョウ発見情報の登録依頼やイベント情報等について7回配信した。

3) 自然環境の保全と生態系バランスを考慮した保全手法の検討・実施

事業No. 8	南アルプス環境調査事業	
事業No.11	高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 4
事業No.12	ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 5
事業No.17	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 4
事業No.18	市民参加型南アルプス自然環境保全事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	
組織No. 5	南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会	P 32

【事業No. 8】南アルプス環境調査事業

南アルプスユネスコエコパーク登録地域内の自然環境等の状況を把握するため、登録地域内の動植物の生息・生育状況調査を実施した。調査対象地域及び対象種は、中央新幹線建設事業による改変の可能性がある範囲のうち、これまでの調査や有識者へのヒアリング結果等を踏まえて選定し、捕獲調査、遺伝子解析、踏査等により、分類群ごと指標種・重要種の分布状況を確認した。（結果概要は、P36「5（2）モニタリングの概要」を参照）

【調査概要】

- ・調査項目：動植物（植物、哺乳類、両生類、淡水魚類）
- ・調査時期：令和6年5月～9月

【事業No.18】市民参加型南アルプス自然環境保全事業

① 南アルプスユネスコエコパーク市民生きもの調査ツアー

市民生きもの調査員を対象に、中央新幹線建設事業による改変予定地（発生土置き場予定地）となっている燕沢の植生復元に向けたウラジロモミ林調査をメインテーマとして、樹高測定や樹種の特定等を行うツアーを開催した。

また、トンネル工事による大井川の流量減少で水生生物への影響が懸念されているため、胡桃沢で水生生物の観察を行うほか、南アルプスの特徴的な地形について講師による解説を行った。

【開催概要】

- ・開催日：令和6年7月20日（土）～21日（日）
- ・開催場所：燕沢、胡桃沢、樺島周辺ほか
- ・参加者数：10人



市民生きもの調査ツアーの様子

② 南アルプスの森づくりツアー

市内在住の小学4～6年生とその保護者を対象に、南アルプス山麓にて、豊かな森を育む落葉広葉樹の種子の採取及び播種を行うとともに、大井川上流の自然環境について現地学習するツアーを開催した。

令和6年度は、計画的に育成してきたミズナラの苗の植樹を実施した。

〔開催概要〕

- ・開催日：令和6年10月26日（土）～27日（日）
- ・開催場所：木賊（とくさ）、鳥森山、樺島周辺ほか
- ・参加者数：9組20人



ドングリ拾い及び播種の様子

4) 自然景観への配慮

事業No. 8	南アルプス環境調査事業	P 6
事業No.11	高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 4
事業No.17	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 4
事業No.18	市民参加型南アルプス自然環境保全事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 6
組織No. 3	静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	P 31
組織No. 4	静岡県中央新幹線環境保全連絡会議	P 31
組織No. 6	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 33

5) 新たな開発等への対応

事業No. 8	南アルプス環境調査事業	P 6
事業No.17	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 4
事業No.18	市民参加型南アルプス自然環境保全事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 6
事業No.19	静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業	P 3
事業No.20	南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理事業	
組織No. 1	静岡県中央新幹線工事調整連絡会	P 31
組織No. 2	静岡市中央新幹線整備対策本部	P 31
組織No. 3	静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	P 31
組織No. 4	静岡県中央新幹線環境保全連絡会議	P 31

【事業No.20】南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理事業

① 林道管理

南アルプスユネスコエコパーク地域内の林道18路線を適正に管理する目的で、林道の路面や法面の状況及びガードレール、カーブミラー、橋梁等の施設の状況を点検するためのパトロール業務を71回実施した。

また、主要幹線道路である林道東俣線については、災害復旧工事、路肩欠損箇所等の修繕工事を実施した。

② 林道の通行者管理

「静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例」に基づき、通行許可が必要な林道東俣線の通行車両を適正に管理するため、起点ゲートを通行する全ての車両の管理（許可の有無の確認、緊急車両の出入管理、夜間の施錠等）及び冬期閉鎖期間中のゲートの施錠点検等を実施した。

また、夜間や冬期閉鎖期間のゲート管理を徹底するため、林道起点ゲートに監視カメラを設置し、悪質車両の監視を行うとともに、ゲート管理棟に設置したポストに通行カードを投函するよう求めた。

2 調査と教育（学術的研究支援の機能）

（１）自然や文化を学び、心を育てる環境整備

１）南アルプス教育の推進

事業No.12	ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 5
事業No.15	南アルプス教育推進支援事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	
事業No.18	市民参加型南アルプス自然環境保全事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 6
事業No.38	自然体験活動指導者育成講座事業	
事業No.39	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業	
事業No.40	学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供事業	
事業No.42	社会科副読本との連携事業	

【事業No.15】南アルプス教育推進支援事業

① 教育教材の活用

市内小学３年生を対象として、環境学習ハンドブック「しずおかの宝 南アルプスユネスコエコパーク」を希望する学校へ配布した。また、校長会において出前講座について紹介した。

② 南アルプスユネスコエコパーク出前授業の実施

市内小中学校や大学、企業等を対象に、ライチョウ親子模型やジオラマ模型、鹿の角、赤石チャートなどを活用した出前授業を実施した。

【開催概要】

- ・開催回数：９回
- ・対象：常葉大学教育学部附属橘小学校（５年生42人）
静岡県立庵原中学校（１年生48人）
静岡県立森下小学校（３年生59人）
静岡県立東源台小学校（３年生96人）
静岡県立清水有度第二小学校（３年生116人）
静岡県立賤機南小学校（１～６年生587人）
静岡産業大学（30人）※年度内に２回実施
岡生涯学習交流館（50人）



出前講座の様子

【事業No.38】 自然体験活動指導者育成講座事業

井川地域の自然、歴史、伝統文化等にふれる活動を通して、南アルプスユネスコエコパークの理念を理解し、その価値や素晴らしさを伝えられる指導者や、井川自然の家及び地域で自然体験活動を推進できる人材を育成するため、井川自然の家にて講座を開催し、必修講座及び選択講座での実地研修修了者を「井川自然の家自然体験活動指導者」として認定した。（令和6年度：3人）

また、希望者に対し、「静岡市環境学習指導員」や「静岡県初級青少年指導者」の資格も認定した。

① 必修講座（全2回）

令和6年5月25日（土）～26日（日）、11月9日（土）～10日（日）

【主な講座内容】

- ・南アルプスユネスコエコパーク学習会
- ・自然にやさしいエコクッキング（野外炊飯）
- ・大日古道ハイキング
- ・井川本村ガイドハイク研修
- ・井川湖渡船乗船体験

② 選択講座（井川自然の家の主催事業に1回参加）

【主な講座内容】

- ・井川在来作物での炊飯活動
- ・所内ガイドハイク
- ・テント設営・撤収
- ・自然物を使ったクラフト

【事業No.39】 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業

井川地域の魅力を普及するとともに、南アルプス・井川地域をより身近に感じ、自然や文化の源である南アルプスの素晴らしさを発見できるよう、主に小中学生や家族を対象としたイベントを開催した。

令和6年度は、応募率130%で、795人の参加があった。また、全20回の主催事業において、参加者の事後アンケートによる満足度が100%になった。

① トム・ソーヤ事業

【主なプログラム】

- ・南アルプスユネスコエコパーク学習会
- ・野外炊飯
- ・野菜の収穫体験
- ・テント泊体験
- ・スキー、雪遊び体験



アウトドアクッキング

② 家族・グループ対象事業

[主なプログラム]

- ・井川在来作物での調理体験
- ・クラフト体験
- ・あまごの串焼き体験
- ・クリスマスリース作り



クリスマスリース作り

③ 送迎バス付事業

[主なプログラム]

- ・クラフト体験
- ・井川本村ガイド
- ・井川湖渡船乗船体験
- ・スキー、雪遊び体験
- ・ハイキング



雪遊び体験

④ 育成事業

[主なプログラム]

- ・自然体験活動指導者育成講座
- ・自然体験活動指導者フォローアップ研修
- ・キャンプリーダー育成講座



養成講座

【事業No.40】 学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供事業

市内小中学校の児童・生徒を中心に、南アルプスの素晴らしさに気づきその恵みに感謝する豊かな心が育つよう、学校教育と連携した体験プログラム等を実施した。

① 南アルプスユネスコエコパークの理念の普及

利用学校の入所時に、南アルプスや井川地域の自然について、児童・生徒の興味を高めるための紹介をした。

② 自然にやさしいエコクッキング（野外炊飯）

野外炊飯を行った学校と団体に、木(薪)・水・食材の節約等、環境保護の大切さを伝えた。

③ 大日古道ハイキング・井川湖渡船乗船体験

古来、井川地域の交通路として機能した大日古道と、現在、井川の地域資源として来訪者から需要のある井川湖渡船を利用した。

④ アマゴの串焼き体験

井川で育ったアマゴを捌き、食べることを通して、命をいただくことの大切さを伝えた。

⑤ 杉板焼き体験

活動を行った学校と団体に、自然の家周辺に生育するスギなどの木材の良さや木目の美しさ、違いなど自然素材のおもしろさを伝えた。

⑥ 星空観察

街の灯りが少なく空気が澄んだ井川地域では、多くの星を観察することができることを伝えた。

【事業No.42】社会科副読本との連携事業

社会科副読本を編集・改定し、発行することにより、各校の授業の充実を図るとともに、児童に静岡市の一員としての自覚、静岡市に対する誇りと愛着をもたせるため、社会科副読本の改訂委員会を年5回開催し、内容検討、執筆を行った。

また、市立小・中学生が学習端末（chrombook）を使用し、社会科副読本を閲覧できるよう整備した。

【掲載内容】

- ・掲載箇所：21頁～24頁
- ・内 容：清沢地区のレモン栽培
梅ヶ島地区の温泉施設
有度木地区のワサビ栽培
奥藁科地区の高山の池
井川地域の高原野菜、井川メンパ、井川神楽
南アルプス ライチョウ、高山植物 赤石岳 前岳

2）体験教育（修学旅行等）や合宿、企業研修の誘致、受入体制の確立

事業No.5	観光プロモーション事業	
事業No.40	学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供事業	P 11
事業No.41	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家PR活動事業	

【事業No.5】観光プロモーション事業

① 観光展等への出展

姉妹都市や友好都市、集客プロモーションパートナー都市において開催される観光展等のイベントに出展し、パンフレット配布や観光情報の発信を行った。

② 観光案内所へのパンフレット等の配架

JR静岡駅北口・南口、JR清水駅にある3箇所の観光案内所において、パンフレットを配架した。

【事業No.41】南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家PR活動事業

① チラシ、ポスター等の配布・掲示

井川地域の各所に、井川自然の家の広報紙やパンフレット等を配布した。また、市内高等学校・大学に井川自然の家キャンプリーダー募集のチラシを配布し、掲示を依頼した。さらに、市内の体育館やスポーツ用品店に、井川自然の家のポスターやリーフレットを配布し、掲示を依頼した。

② ホームページによる情報発信

主催事業の募集案内やインターネット予約システム、井川自然の家の広報紙「からまつ」の紹介を中心に、毎月5回以上の更新・情報の発信を行った。

③ 校務支援システムの活用

学校教育で活用可能な井川地域の自然物の写真リスト等を掲載し、閲覧できるようにした。また、校務支援システムの活用を促すため、市内小中学校に向けた周知を行った。さらに、校務支援システム端末を事務所に新設し、市内の学校との連携体制を強化した。

3) 教育拠点の整備・充実と効果的な活用

事業No.10	静岡市次世代エネルギーパーク推進事業
事業No.21	南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター活用事業

【事業No.10】静岡市次世代エネルギーパーク推進事業

① 普及啓発

次世代エネルギーパークに対する理解増進を図るため、静岡市地球温暖化対策情報サイト「つながりずおか」をはじめとした各種広報媒体を活用して、静岡市次世代エネルギーパークを広報し、次世代エネルギーに関する普及啓発を行った。

② 活用推進

各種出前講座でパンフレットを配布し、活用推進を図った。

〔南アルプスユネスコエコパークの次世代エネルギーパーク関連施設〕

- ・静岡市南アルプス赤石温泉「白樺荘」（バイオマス熱利用）
- ・中部電力井川展示館（水力発電）
- ・井川発電所／井川ダム（水力発電）
- ・畑薙第一発電所／畑薙第一ダム（水力発電）

【事業No.21】南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター活用事業

南アルプスユネスコエコパークへの来訪者の増加を図るため、情報発信の拠点等として活用し、井川地域の観光や登山に関する情報を発信した。

(2) モニタリングの実施と情報の集約

1) モニタリングの実施

事業No. 8	南アルプス環境調査事業	P 6
事業No.11	高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 4
事業No.12	ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 5
事業No.17	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 4
事業No.18	市民参加型南アルプス自然環境保全事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 6
組織No. 6	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 33

2) 産官学民の連携によるモニタリング体制の構築

事業No.18	市民参加型南アルプス自然環境保全事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 6
組織No. 6	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 33

3) 自然や文化に関わる情報の集約と活用

事業No.17	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 4
事業No.18	市民参加型南アルプス自然環境保全事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 6
組織No. 6	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 33

3 地域の持続的な発展（経済と社会の発展の機能）

（1）地域の魅力の磨き上げと地域振興

1）地域資源のブランド化と販路開拓の支援

事業No. 4	葵区魅力づくり事業
事業No.25	地域おこし協力隊配置事業
事業No.26	オクシズ元気ビジネス支援事業
事業No.28	オクシズ漆の里構想事業

【事業No. 4】 葵区魅力づくり事業

地域住民による地域プロモーションと、地域住民の参画及び定着化を図るため、地域活動参加促進事業「葵トラベラー」を井川地域で2回実施した。

① 井川編「井川満喫ツアー」

〔開催概要〕

- ・開催日：令和6年6月10日（土）
- ・参加者数：26人
- ・会場：井川ビジターセンター、白樺荘、井川湖渡船

② 井川編「親子で体験！ピザづくりと廃線小路探検」

〔開催概要〕

- ・開催日：令和6年7月24日（水）
- ・参加者数：29人
- ・会場：井川西山平地区内、白樺荘、井川湖渡船、廃線小路



井川湖渡船



ピザづくり



廃線小路

【事業No.25】 地域おこし協力隊配置事業

① 地域おこし協力隊の新規隊員の募集及び配置

井川地域を含めた中山間地域へ地域おこし協力隊を配置し、地域の産物のブランド化推進や来訪者の増加を図るため、地域おこし協力隊を、井川地域、梅ヶ島地域、大川地域に各1名配置した。

また、大河内地域、玉川地域において新規隊員の募集を行った。

② 補助金の交付

地域おこし協力隊の活動を支援する団体へ「地域おこし協力隊活動支援事業補助金」を交付した。



出張講義



井川スパイスの開発



イベント出店・販売

【事業No.26】 オクシズ元気ビジネス支援事業

中山間地域の活性化及び集落の維持を図るため、地域住民等が地域の産業・自然・文化などの資源を活用した新たなビジネスを「オクシズ元気ビジネス支援事業」として認定し、地域団体1件、地域団体以外3件の計4件、補助金の交付を行った。

【事業No.28】 オクシズ漆の里構想事業

市内中山間地域「オクシズ」でウルシを育て、漆を製品化し、市内文化財の補修や地場産業で活用する「漆の地産地消」体制の構築を目指す取組を行った。

① 調査事業

オクシズでの栽培方法確立のため、試験植栽を実施した。（令和6年度植栽面積：0.344ha）

② 人材育成事業

ウルシについて、様々な分野から学ぶ研修会「漆の学校」を5回開催した。

③ 付加価値向上事業

箸、箸置き、スタンド、漆染めキット、アクセサリなど、ウルシの未利用材を活用した商品開発や、各種イベント（産業フェア、森林の市ほか）へのブース出展、リーフレット vol.6 の作成を行った。

2) 地域資源を活かした新たなプログラム・コースの開発

事業No.5	観光プロモーション事業	P12
事業No.14	南アルプス情報発信事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	
事業No.18	市民参加型南アルプス自然環境保全事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P6
事業No.22	南アルプス周辺登山道整備事業	
事業No.39	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業	P10
事業No.41	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家PR活動事業	P13

【事業No.14】南アルプス情報発信事業

南アルプス・井川地域の魅力やイベント情報、登山情報などを、各種媒体を活用して発信した。

① ホームページによる情報発信

平成27年度に開設したホームページ“南アルプスde深呼吸「南プス」”にて、井川地域の施設情報や暮らしの魅力などを発信した。（令和6年度閲覧数：222,176PV）

また、各種イベントの取材及び動画制作をし、イベントレポートとして、ホームページに3件掲載した。

② フォトコンテストによる魅力発信

南アルプス南部・井川地域の魅力発信のためフォトコンテストを2回実施した。

③ Instagramによる情報発信

南アルプスや井川地域の最新情報について、公式Instagramにて発信した。（令和6年度末フォロワー数：1,666人）

④ 南アルプスライブ映像の配信

牛首峠から見える赤石岳及び富士見峠から見える南アルプスのライブ映像を配信した。

【事業No.22】南アルプス周辺登山道整備事業

南アルプス登山者の安全性・利便性を確保するため、聖沢登山道の調査及び軽微な整地、茶臼登山道（吊橋）の修繕、畑薙夏季臨時駐車場の整備を実施した。



茶臼登山道修繕



吊橋修繕



畑薙夏季臨時駐車場整備

3) 積極的な情報発信

事業No. 1	移住希望者向け情報発信事業	
事業No. 5	観光プロモーション事業	P 12
事業No.13	普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	
事業No.14	南アルプス情報発信事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 17
事業No.16	南アルプスユネスコエコパーク登録周年記念事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	
事業No.25	地域おこし協力隊配置事業	P 15
組織No. 5	南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会	P 32
組織No. 8	南アルプスあふとライン周辺地域誘客協議会	P 34

【事業No.1】移住希望者向け情報発信事業

① 移住支援センターを中心とした移住・定住相談事業

東京に開設した「静岡市移住支援センター」の相談員による移住相談業務のほか、毎回異なるテーマで移住セミナーや相談会等を開催し、移住希望者へ情報提供した。

【相談概要】

- ・相談件数：1,532件
- ・相談人数：1,741人

② ホームページ等による情報発信

静岡市移住・定住情報サイト「いいねえ。静岡生活」やSNSのほか、移住関連雑誌やテレビ・新聞等により移住情報や本市の魅力を発信した。

【事業No.13】普及啓発事業

① 情報発信

広報しずおか「静岡気分」や、子ども環境情報紙「エコチル」へ情報掲載するほか、SNSを活用してイベント情報の告知や報告を行った。

また、南アルプスユネスコエコパークロゴマークを活用した、職員名刺やPRポロシャツを作成した。

② エコパーク展

南アルプスユネスコエコパークの魅力を発信する展示やイベント出展を、静岡地域連携協議会員や市民団体等と連携して行った。

ア) 市内・県内における情報発信

- ・環境フェスタ
実施日：令和6年7月27日（土）
会場：清水テルサ
- ・静岡聖光学院文化祭「聖光祭」
実施日：令和6年9月28日（土）～29日（日）
会場：静岡聖光学院
- ・静岡アート&ネイチャーフェスティバル
実施日：令和6年11月5日（火）～10日（日）
会場：静岡市民ギャラリー
- ・静岡デコ活
実施日：令和6年12月7日（土）
会場：青葉シンボルロード
- ・エコパーク展
実施日：令和6年12月17日（火）～令和7年1月10日（金）
会場：岡生涯学習交流館

- ・SDGs Runway SHIZUOKA 2025

実施日：令和7年1月11日（土）

会場：ツインメッセ静岡

- ・南アルプスみらい学会シンポジウム

実施日：令和7年3月8日（土）～9日（日）

会場：グランシップ

イ）首都圏における情報発信

- ・ふじのくに交流会

実施日：令和6年10月21日（月）

会場：京王プラザホテル

- ・観光キャラバン

実施日：令和7年2月11日（火）～12日（水）

会場：マークイズみなとみらい

ウ）海外に向けた情報発信

令和6年11月19日（火）に、日本平ホテルで開催された日仏会議において、南アルプスユネスコエコパークに関する展示や、十山株式会社のウイスキーの試飲などを行った。また、会議では乾杯用に参加者全員にウイスキーを用意した。



日仏会議の様子

【事業No.16】南アルプスユネスコエコパーク登録周年記念事業

市民をはじめ静岡市に来訪する方に向けて、南アルプスユネスコエコパーク登録10周年とエコパークの理念を周知するために、登録10周年記念事業を実施した。

① 記念イベント開催

ア）オープニングセレモニー

南アルプスユネスコエコパーク登録10周年を静岡地域連携協議会員や井川地域住民が共に祝うセレモニーを、令和6年6月8日（土）に、井川ビジターセンターで開催した。

イ）アニバーサリーイベント

南アルプスが身近にあり、訪れることで得られる自然の美しさや、活動の楽しさを広く市民に周知するため、令和6年6月15日（土）に、青葉シンボルロードで登録10周年記念イベントを開催した。

ウ) 10周年記念大会

登録までの経緯や自然環境の保全と利活用に関するこれまでの取組、そして、これから目指していく姿等について、より多くの方に広く知ってもらうため、講演会や展示、ワークショップ等を、令和6年12月14日（土）～15日（日）に、静岡市民文化会館で開催した。



オープニングセレモニー



アニバーサリーイベント



10周年記念大会

エ) 記念講演会及び交流会

・第1回

実施日：令和6年4月20日（土）

会場：静岡県男女共同参画センターあざれあ

題目：南アルプスユネスコエコパークの自然に学ぶ

参加者数：72人

・第2回

実施日：令和6年5月25日（土）

会場：レイアップ御幸町ビル

題目：南アルプスのガストロノミーツーリズム

参加者数：95人

・第3回

実施日：令和6年7月20日（土）

会場：B-nest

題目：南アルプス高山植物由来酵母とウイスキー&交流会

参加者数：80人

・第4回

実施日：令和6年10月13日（日）

会場：静岡大学静岡キャンパス

題目：南アルプスの水と酒造り

参加者数：55人

・第5回

実施日：令和6年11月2日（土）、11月3日（日）、11月9日（土）

会場：静岡大学静岡キャンパス・浜松キャンパス

題目：静岡の自然と利活用、グローバルな発酵文化と観光

参加者数：88人

② 大井川源流の碑設置プロジェクト

南アルプスへの興味や関心を高めるため、ボランティア協力のもと、材料や資材を人力で運搬し、大井川の源流部である間ノ岳に記念碑を組立・設置した。完成報告会は、「10周年記念大会」内で行った。

また、ノベルティグッズとして大井川源流の碑手拭を制作した。



大井川流域の碑リレー・到達式

③ ミズナラ苗木植樹

今後育成するミズナラの播種や、南アルプス森づくりツアー等で計画的に育成してきたミズナラの苗木を樫島ロッジ敷地内に記念植樹した。

【開催概要】

- ・開催日：令和6年6月20日（土）
 - ・参加者数：13人（井川小中学校の児童・教員、井川こども園の園児・保育士）
- ※南アルプス森づくりツアーにおいても記念植樹を実施。（P 7 参照）



記念植樹の様子

4) 地域資源の持続可能な利用

事業No. 7	中山間地域への再生可能エネルギー導入促進事業	
事業No. 9	静岡市森林環境アドプト事業	
事業No.24	野生鳥獣被害対策事業	
事業No.27	林業担い手育成対策事業	
事業No.28	オクシズ漆の里構想事業	P 16

【事業No. 7】中山間地域への再生可能エネルギー導入促進事業

再生可能エネルギーの導入に向け、よりポテンシャルが高い場所の再調査をするとともに、採算性等の課題から事業スキームの再構築の検討を行った。

【事業No.9】 静岡市森林環境アドプト事業

① 森林整備計画の検討・整備実施

森林地域の恩恵を受ける都市地域の企業・団体等の寄附により、二酸化炭素の吸収に必要な森林の整備を行った。

[実績]

・平成23～26年度	葵区俵峰地区	32.10ha
・平成27～29年度	清水区河内地区	42.24ha
・平成30～令和2年度	葵区井川地区	34.11ha
・令和3～5年度	葵区清沢地区	36.00ha
・令和6年度	清水区中河内地区	12.20ha

② 間伐材の活用

間伐材を活用した積み木を20セット作成し、市内こども園等に寄贈した。

[贈呈式]

- ・開催日：令和7年1月15日（水）
- ・会場：静岡市役所 新館17階 171・172会議室

③ 森林環境アドプト企業認定証書授与式の開催

静岡市森林環境アドプト実行委員会から、「静岡市森林環境アドプト企業認定証書」を授与、静岡市長から感謝状を贈呈した。

[贈呈式]

- ・開催日：令和7年1月15日（水）
- ・会場：静岡市役所 新館17階 171・172会議室

④ 新規寄付企業の開拓

令和6年度は、新たに1社が森林環境アドプト企業へ加入した。

⑤ 普及啓発

森林を整備した地区に、事業内容及び森林アドプト企業を紹介する看板を設置した。



積み木の寄贈



認定証授与式



整備看板

【事業No.24】 野生鳥獣被害対策事業

野生鳥獣による農作物等の被害を防除するため、農林業者等への助成、有害鳥獣の捕獲等を行った。

① 農林業者等への助成（防除事業）

個 別 型：	81件	6,697千円	9.5ha
団 体 型：	51件	8,249千円	16.2ha
地域一体型：	5件	20,140千円	21.5ha
合 計：	137件	35,086千円	47.2ha

② 有害鳥獣捕獲事業

捕獲獣種	捕獲実績数	報償金額
ニホンザル：	307頭	9,210千円
ニホンジカ：	1,033頭	20,660千円
イノシシ：	1,000頭	15,000千円
カラス：	94羽	47千円
アライグマ：	207頭	1,035千円
ハクビシン：	618頭	3,090千円
アナグマ：	187頭	935千円
タヌキ：	289頭	1,445千円
合 計：	3,735頭	51,422千円

【事業No.27】 林業担い手育成対策事業

林業労働災害を防止するため、就労環境改善に必要な経費を助成する「林業労働安全衛生対策事業補助金」を交付した。

また、振動機械の使用による障害の予防対策の一環として、林業、製材業関係者が実施する特殊健康診断に係る経費を助成する「林業労務者振動病対策事業補助金」を交付した。

(2) 将来を担う人材育成と受入体制・環境づくり

1) 地域資源をつなげる人材の育成

事業No.13	普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 18
---------	----------------------------------	------

2) 地域の担い手育成

事業No. 1	移住希望者向け情報発信事業	P 18
事業No. 6	無形民俗文化財の公開事業	
事業No.13	普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 18
事業No.23	中山間地域移住促進事業	
事業No.25	地域おこし協力隊配置事業	P 15
事業No.28	オクシズ漆の里構想事業	P 16

【事業No.6】無形民俗文化財の公開事業

後継者不足に悩む民俗芸能の保存団体に対する伝承活動の支援や、その伝統文化に市民が身近に触れることができる場として「大神楽祭2025」を開催し、認知度や魅力度の向上を図った。

〔開催概要〕

- ・開催日：令和7年2月15日（土）11:00～16:15
- ・来場者数：延べ2,650人
- ・会場：静岡浅間神社 舞殿
- ・出演団体：6団体

（井川神楽保存会、梅ヶ島新田神楽保存会、清澤神楽保存会、坂ノ上神楽会、親王囃子保存会、横浜神楽保存会）



大神楽祭2025の様子

【事業No.23】中山間地域移住促進事業

① 空き家情報の発信

ホームページ「中山間地域空き家情報バンク」により情報発信し、令和6年度は5件の成約があった。

② 移住者支援

ア) 中山間地域移住者用住宅改修事業補助金

空き家情報バンクに掲載されている賃貸・売買住宅の改修にかかる経費に対し、補助金を交付した。（令和6年度交付実績：4件）

イ) 中山間地域空き家片付け事業補助金

空き家情報バンクに登録申請した住宅について、家財道具の処分等にかかる経費に対し、補助金を交付した。（令和6年度交付実績：1件）

ウ) 中山間地域移住報奨金

旧安部6カ村及び両河内地区に移住後6月以上の居住実績があり、生活の様子を情報発信し、市の実施する移住促進事業に協力する者に対し、報奨金を交付した。（令和6年度交付実績：18件、うち井川地区1件）

③ 受入地域支援

地域が実施する移住促進活動にかかる経費を助成する「移住促進事業補助金」を、令和6年度は1件交付した。

3) 交流人口の増加

事業No.2	井川湖渡船運航事業	
事業No.5	観光プロモーション事業	P12
事業No.13	普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P18
事業No.16	南アルプスユネスコエコパーク登録周年記念事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P19
事業No.18	市民参加型南アルプス自然環境保全事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P6
事業No.21	南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター活用事業	P13
事業No.30	静岡市道路休憩施設利用促進事業	
事業No.41	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家PR活動事業	P13
組織No.5	南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会	P32
組織No.6	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P33
組織No.8	南アルプスあふとライン周辺地域誘客協議会	P34

【事業No.2】井川湖渡船運航事業

① 渡船運航

対岸への交通手段を確保するとともに、観光用航路を活用し、地域活性化を図った。

【実績】

- ・年間運航回数：1,707回
- ・年間乗客数：4,149人

※運航期間外（令和6年12月23日～令和7年3月31日）や水位低下、天候不良の場合は運休。

② 渡船関係施設の更新・維持管理

渡船乗場の安全を確保するため、湖水面の上昇、下降に伴う栈橋の移設、渡船乗場通路上の土砂及び流木等の撤去、井川湖渡船（赤石丸・令和聖）の塗装等修繕を実施した。

③ イベントの開催

ア) 井川湖上音楽まつり

湖上で演奏を楽しむ「特別便」を運航するとともに、南アルプスユネスコエコパーク登録10周年特別講演として井川ダム内部における演奏会「ダム内部LIVE」を開催した。また、地域と連携した特産品の販売を実施した。

【開催概要】

- ・開催日：令和6年9月28日（土）、29日（日）
10月5日（土）、6日（日）
- ・乗船者数：117人
- ・来場者数：延べ237人

イ) 井川湖渡船ランチクルーズ・お茶席船

船上で、井川の食材を使用したお弁当や、井川茶とあわせて井川産のお菓子を食べながら、井川湖渡船から見る井川の景観を楽しむイベントを開催した。

[開催概要]

- ・開催日：令和6年11月5日（火）、7日（木）、12日（火）、14日（木）
- ・乗船者数：68人



音楽まつり・ランチクルーズの様子

④ シンボルマークを活用したプロモーション

渡船待合所オープニングにあわせ、静岡文化芸術大学（デザイン学科）の学生が制作したシンボルマークの缶バッジを乗船者に配付し、渡船のPRを行った。

【事業No.30】 静岡市道路休憩施設利用促進事業

既存の観光・地域振興施設と連携し、道路利用者へ駐車場とトイレを提供するとともに、地域と道路利用者との交流を図るため、オクシズドライブマップを各道路休憩施設（有人）や各区役所の総合案内等に配架し、広報活動を行った。

4) 観光地としてのレベルアップ

事業No.30	静岡市道路休憩施設利用促進事業	P 26
組織No. 8	南アルプスあふとライン周辺地域誘客協議会	P 34

5) 交通アクセスの向上

事業No. 2	井川湖渡船運航事業	P 25
事業No. 3	廃線小路維持管理事業	
事業No.20	南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理事業	P 8
事業No.22	南アルプス周辺登山道整備事業	P 17
事業No.29	井川地区自主運行バス運行事業	
事業No.30	静岡市道路休憩施設利用促進事業	P 26
事業No.31	道路改良事業	
事業No.32	道路トンネル補修事業	
事業No.33	道路自然災害防除事業（法面）	
事業No.34	橋梁の耐震化及び健全化事業	
組織No. 8	南アルプスあふとライン周辺地域誘客協議会	P 34

【事業No.3】 廃線小路維持管理事業

① 広報・PR活動

井川湖渡船と井川湖畔遊歩道を組み合わせた散策に便利なパンフレットを、地域内の施設や大井川鐵道、川根本町まちづくり観光協会等の関係先、並びに各課が主催するイベント等で配布した。また、「Drive!Nippon」に紹介記事を掲載した。

② 遊歩道の安全確保

井川湖畔遊歩道の快適な利用と景観の美化を維持するため、廃線小路の擬木修繕を行った。また、巡視を17回実施した。

【事業No.29】 井川地区自主運行バス運行事業

井川地区では、平成20年に民間事業者による路線バスが廃止されたことに伴い、地区住民の生活交通を確保するため、平成20年6月から市による自主運行バスを運行している。観光客対応のため、7、8、10、11月の土日祝は運行ダイヤを増便し、葵区横沢から南アルプス赤石温泉白樺荘まで、365日稼働した。（令和6年度利用者数：2,604人）

【事業No.31】 道路改良事業

県道三ツ峰落合線及び主要地方道南アルプス公園線のトンネル新設について、起点側（井川側）の県道切回し工事に着手し、終点側（横沢側）の県道切回し工事は完了した。また、トンネル前後区間の道路拡幅及び災害防除等を実施した。

【事業No.32】 道路トンネル補修事業

地域住民、来訪者の安心・安全を確保し、交通アクセスの向上を図るため、トンネル補修事業における、維持管理計画の改定を行った。

【事業No.33】 道路自然災害防除事業（法面）

道路防災点検によって、緊急輸送路上で、緊急又は早期に法面对策が必要と評価された箇所や斜面に変状が生じた箇所における対策を実施した。

【工事概要】

- ・対象工事：3件（井川）
- ・対象道路：（県）南アルプス公園線、（市）閑蔵線



南アルプス公園線（井川大沢戸・田代西河内）



閑蔵線

【事業No.34】 橋梁の耐震化及び健全化事業

橋脚のある橋梁の耐震化を2橋（大島橋2、小河内大橋）実施した。また、定期点検の実施により、早期に措置を必要とした橋梁の健全化を4橋（下 亀久保沢橋、大島橋2、井川大橋、小河内大橋）実施した。

6) 地域住民や来訪者の安全性・利便性・快適性の確保

事業No.22	南アルプス周辺登山道整備事業	P 17
事業No.35	千代田消防署井川出張所維持管理事業	
事業No.36	山岳救助体制整備事業	
事業No.37	ヘリコプター南アルプス活動拠点指定事業	
組織No. 7	静岡県山岳遭難防止対策協議会静岡市支部	P 34

【事業No.35】 千代田消防署井川出張所維持管理事業

井川地域住民等の安全を確保し、非常事態に備えた体制を整備するため、井川地域の消防、救急を担う拠点施設となる千代田消防署井川出張所庁舎の維持管理及び井川出張所職員宿舎の設計・建設工事を実施した。

【事業No.36】 山岳救助体制整備事業

地域住民や来訪者の安全を確保するため、消防航空隊、山岳救助隊を設置し、山間地域での事故発生時に、捜索、救出、救護を実施した。

① 山岳救助体制の充実

年間を通して山岳救助事案発生の可能性を踏まえ年間計画を策定し、シーズンごとの訓練を実施した。また、消防航空隊との連携訓練により、迅速に対応できる体制を整えた。

【訓練概要】

- ・春山訓練 0回 ※南アルプス捜索事案対応により、全て中止
- ・夏山訓練 2回 ※一部中止
- ・冬山訓練 2回 ※一部中止
- ・消防ヘリコプターとの連携訓練 8回
- ・消防ヘリコプターとの連携事案 20回



訓練の様子

② 山岳救助支援員の指名

山岳救助事案の発生件数が増加傾向にあることから、山岳救助体制の強化を図ることを目的に、山岳救助隊経験者6名を「山岳救助支援員」に指名し、山岳救助事案が同時に複数発生した場合等に出動させる制度を構築した。(令和6年度出動実績：2回)

また、災害事案に備え、山岳救助隊とともに訓練を実施した。

【事業No.37】 ヘリコプター南アルプス活動拠点指定事業

登山者等の非常事態へ迅速に救助・救急対応をするため、登山道にヘリコプターのレスキューポイント及び着陸場を指定するための調査等を実施した。

① 登山調査・上空調査

平成27年度から引き続き、南アルプスの森林限界以下（樹林帯）登山道に、ヘリコプターから救助隊員をホイス投入できる場所を指定するため、上空からの調査を実施した。

また、新規レスキューポイント（茶臼岳登山道上 水飲み場）の整備を実施する計画だったが、土砂災害の影響により延期となり、令和7年度に実施予定。

② 資料作成・配布

南アルプス活動拠点資料を更新し、関係機関に配布した。

4 理念の継承と管理運営体制の構築（3つの機能を支える連携機能）

（1）国内外への積極的な情報発信とオール静岡による意識醸成

1）国内外への積極的な情報発信

事業No.5	観光プロモーション事業	P 12
事業No.13	普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 18
事業No.16	南アルプスユネスコエコパーク登録周年記念事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 19
組織No.6	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 33

2）国際対応

事業No.5	観光プロモーション事業	P 12
事業No.13	普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 18

3）オール静岡による意識醸成

事業No.13	普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 18
事業No.14	南アルプス情報発信事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 17
事業No.15	南アルプス教育推進支援事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 9
事業No.16	南アルプスユネスコエコパーク登録周年記念事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 19
事業No.38	自然体験活動指導者育成講座事業	P 10
事業No.39	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業	P 10
事業No.40	学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供事業	P 11
事業No.42	社会科副読本との連携事業	P 12

（2）産官学民協働による管理運営体制の構築

1）南アルプスユネスコエコパーク全体の管理運営体制の構築

組織No.6	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 33
--------	--------------------	------

2）静岡県、川根本町等との連携体制の構築

組織No.5	南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会	P 32
--------	-------------------------	------

4 関連組織の活動状況

実行計画に掲載されている関連組織の活動状況は次のとおりです。

【組織No.1】 静岡県中央新幹線工事調整連絡会

令和6年度の開催実績なし

【組織No.2】 静岡市中央新幹線整備対策本部

令和6年度の開催実績なし

【組織No.3】 静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
第16回静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	令和6年4月9日 静岡市役所8階 市長公室	・生態系保全
第17回静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	令和6年5月22日 静岡市役所8階 市長公室	・生態系保全
第18回静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	令和6年6月18日 静岡市役所8階 市長公室	・発生土置き場 ・岐阜県における水位低下
第19回静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	令和6年8月26日 静岡市役所8階 市長公室	・発生土置き場 ・生態系保全
第20回静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	令和6年11月18日 静岡市役所8階 市長公室	・発生土置き場 ・蛇拔沢の流量変化
第21回静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	令和7年2月4日 静岡市役所8階 市長公室	・発生土置き場 ・生態系保全

【組織No.4】 静岡県中央新幹線環境保全連絡会議（生物多様性部会専門部会）

行事・会議名	開催日時・場所	内容
静岡県中央新幹線環境保全連絡会議 第12回生物多様性部会専門部会	令和6年4月12日 静岡県庁本館4階 特別会議室	・これまでの経緯、今後の主な対話項目及び対話の進め方 ・水生生物等（生態系）への影響の予測・評価 ・水生生物等への影響の回避・低減措置と順応的管理 ・モニタリング計画
静岡県中央新幹線環境保全連絡会議 第13回生物多様性部会専門部会	令和6年8月5日 静岡県庁本館4階 特別会議室	・沢の流量変化 ・代償措置等 ・順応的管理のシナリオ

静岡県中央新幹線環境保全 連絡会議 第 14 回生物多様性部会専 門部会	令和 6 年 11 月 1 日 静岡県庁別館 8 階 第一会議室 B、C、D	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高標高部の湧水と地下水のつ ながり ・ 大井川本流の水質・水温の変 化による底生生物等への影響 ・ 沢の水生生物等への影響
静岡県中央新幹線環境保全 連絡会議 第 15 回生物多様性部会専 門部会	令和 7 年 2 月 13 日 静岡県庁本館 4 階 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沢の水生生物等への影響 ・ 回避・低減措置及び代償措置 ・ 大井川本流の水質・水温の変 化による底生生物等への影響

【組織No.5】南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
令和 6 年度臨時決議	令和 6 年 4 月 9 日（書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南アルプスユネスコエコパーク 登録 10 周年記念事業 ・ 大井川源流の碑設置事業 ・ いかわね新聞事業、Instagram 運用について
	令和 6 年 4 月 25 日（書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座について
令和 6 年度総会	令和 6 年 5 月 21 日 静岡市役所清水庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 5 年度事業報告、決算報告 ・ 会則の改正案について ・ 令和 6 年度事業計画案、予算案 ・ 令和 6 年度清掃活動について
井川と川根をつなぐ 「いかわね新聞」編集 チーム打合せ会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 6 年 9 月 12 日 静岡市役所井川支所 ・ 令和 6 年 10 月 29 日 川根本町文化会館 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 21 号掲載記事内容について ・ 発行部数 9,400 部（2 月発行） ・ 川根本町全戸、井川地域全戸、 静岡県中部地域の公共施設等に 配布
令和 6 年度版 南アルプス登山観光情 報冊子	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静岡県山岳遭難防止対策協議会 静岡市支部と共同で発行 ・ 発行部数 1,000 部（7 月発行） ・ 南アルプス構成 10 市町村や静岡 市東京事務所等に配布
清掃活動	令和 6 年 10 月 6 日 千頭駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川根本町職員互助会員等と共同 で実施 ・ 正味 140kg のゴミを回収・処分
	令和 6 年 11 月 23 日 白樺荘～県道 60 号線	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南アルプスパートナースhip賛 同者と共同で実施 ・ 正味 80kg のゴミを回収・処分

観光キャラバン	令和7年2月11日～12日 マークイズみなとみらい	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡市、静岡県、川根本町、十山株式会社、一般財団法人南アルプスみらい財団が参加 (協議会員以外に、ふじのくに地球環境史ミュージアム、地域おこし協力隊も連携して運営) ・南アルプスユネスコエコパークの紹介やワークショップ、景品抽選会を実施
---------	------------------------------	--

【組織No.6】南アルプス自然環境保全活用連携協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
幹事会	令和6年4月25日 inadani sees ホール（長野県伊那市）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度総会の概要について ・令和5年度事業報告 ・令和6年度事業計画案、予算案
	令和7年2月27日 飯田市役所本庁舎C棟3階 会議室（長野県飯田市）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度総会について ・ワーキンググループ活動報告
令和6年度総会	令和6年5月23日 東京エレクトロン韮崎文化ホール（山梨県韮崎市）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業報告、決算報告 ・役員の改選について ・令和6年度事業計画案、予算案 ・ユネスコへの定期報告について
地域連絡会議	令和6年6月27日 静岡市役所清水庁舎3階 312 会議室（静岡県静岡市）	<ul style="list-style-type: none"> ・南アルプスエコパーク・ジオパークフェア in イオン飯田店の開催について ・こども霞ヶ関見学デーについて ・10周年記念事業報告 ・自然観察ツアー体験
	令和6年8月22日 エコパ伊奈ヶ湖グリーンロッジ研修室（山梨県南アルプス市）	
	令和6年10月24日 富士見町コミュニティプラザ2階研修室（長野県富士見町）	
	令和6年12月19日 甲斐駒センターせせらぎ 会議室（山梨県北杜市）	

ワーキンググループ会議 (ライチョウ保護WG)	令和6年11月21日(書面開催)	<ul style="list-style-type: none"> ・南アルプスライチョウサポーターフォローアップ研修会(ライチョウ勉強会)の内容について <p>※8つのWGを設置し、リーダー市町村を中心に各課題への対応や情報共有を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 登山道誘導標識WG (2) 情報発信WG (3) 看板表示WG (4) ユネスコエコパーク定期報告WG (5) 管理運営計画WG (6) ニホンジカ対策WG (7) ライチョウ保護WG (8) 林道WG
----------------------------	------------------	--

【組織No.7】 静岡県山岳遭難防止対策協議会 静岡市支部

行事・会議名	開催日時・場所	内容
令和6年度静岡県山岳遭難防止対策協議会 静岡市支部総会	令和6年5月31日 静岡市林業センター 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業報告、決算報告 ・役員の改選について ・令和6年度事業計画案、予算案 ・事務局からの連絡事項 ・山岳遭難に係る講演
登山相談所の開設	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年4月26日～5月6日 春山登山相談所 ・令和6年7月13日～9月1日 夏山登山相談所 ・令和6年12月28日～令和7年1月5日 冬山登山相談所 	<ul style="list-style-type: none"> ・登下山届提出指導及び受付 ・コース・装備の指導、気象交通状況の案内 ・遭難事故防止の呼びかけ ・登山道徳の啓発

【組織No.8】 南アルプスあぶとライン周辺地域誘客協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
協議会総会	令和6年4月18日 川根本町総合支所2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業報告、決算報告 ・令和6年度事業計画案、予算案

担当者会議	令和6年5月17日、9月9日 令和7年1月17日 川根本町総合支所2階会議室	・事業の実施について
星空列車プロジェクト ミーティング	令和6年6月7日、6月17日 7月9日、7月22日 川根本町観光協会	・事業の実施について
星空列車プロジェクト	令和6年10月18日 ～令和7年3月1日の土日 ※年末年始は除く	・あふとラインで行う星空列車プロジェクトに対する支援
観光キャラバン	令和6年11月16日～17日 令和7年2月8日～9日 鉄道博物館	・パンフレット配布 ・ガチャポン抽選会 ・クイズ
奥大井湖上駅駐車場輸 送実証実験	令和6年4月27日～5月6日	・長島公園駐車場から奥大井湖上駅までのタクシー輸送
井川線誘客事業	令和6年6月～8月	・井川駅降車のお客様に鉄カードをプレゼント

【組織No.9】オクシズ漆の里協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
協議会総会	令和6年6月19日 林業センター2階研修室	・令和5年度事業報告、決算報告 ・令和6年度事業計画案、予算案
定例会	毎月3週目～4週目の間に実施 林業センター2階研修室	・事業の実施について
試験植樹	令和7年3月 西里、腰越、坂本、寺島	・ウルシの分根苗 ・実生苗の植樹
オクシズ漆の学校	令和6年9月7日、10月12, 19日 11月30日、12月7日 静岡浅間神社ほか	・研修会の実施
イベント出展	令和6年7月7日 静岡文化芸術大学	・匠講座
	令和6年10月3日～4日 静岡浅間神社	・日本漆アカデミー
	令和6年11月23日～24日 ツインメッセ静岡	・産業フェア
	令和7年1月26日 林業センター	・森林の市
	令和7年2月22日～23日 静岡市民文化会館	・新文化島2.0

5 モニタリング実施状況

令和6年度のモニタリングの実施状況を集約しました。

(1) モニタリング実施項目

モニタリング項目		
区分	項目	
生活環境	1) 水質の状況	・水素イオン濃度 (pH)、生物化学的酸素要求量 (BOD)、カドミウム、鉛 ほか (環境保健研究所)
自然環境	2) 動植物の状況	・植物、哺乳類、両生類、淡水魚類 (環境共生課)
	3) 希少種の生息・生育状況	・ライチョウの生息状況把握調査 (環境共生課)
調査・教育	4) 環境教育・学習	・「南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家」利用者数 (井川自然の家) ・静岡県「県民の森」利用者数 (静岡県くらし・環境部環境局/環境ふれあい課)
	5) 伝統文化等の保存状況	・伝統文化等の保存状況 [県指定文化財、市指定文化財] (歴史文化課)
社会状況	6) 観光振興の状況	・井川地区内・施設入込客数 (中山間地振興課ほか) ・主要施設利用者数 (中山間地振興課ほか) ・交通機関利用者数 (井川支所、交通政策課ほか)
	7) 産業振興の状況	・井川地区事業所数及び従業員数
	8) 地域を取り巻く環境	・井川地区の人口及び世帯数、高齢化率 ・静岡市立井川小中学校 児童・生徒数 (教育総務課)

(2) モニタリングの概要

1) 水質調査

① 調査項目

水素イオン濃度 (pH)、生物化学的酸素要求量 (BOD)、カドミウム、鉛 ほか

② 調査地点及び時期

地点：剃石、燕沢、西俣ヤード付近、藤島沢付近、大井川本流榎島付近

時期：5月、11月

③ 調査結果

水質基準値や市内河川の水質データとの比較により、調査地点は良好な水質であることが確認された。

2) 動植物調査

① 調査項目

植物、哺乳類、両生類、淡水魚類

② 調査地点

大井川源流域及び中央新幹線建設事業に伴い環境保全措置を実施した地点

③ 調査結果

令和6年度の現地調査で、15種の指標種・重要種を確認。

その内訳は、植物10種、哺乳類2種、両生類2種、淡水魚類1種であった。

分類群	調査内容	調査手法	
植物	リニア事業による 改変地の植物相の 把握	踏査、 任意観察	調査対象地区において、踏査により植物相 及び指標種・重要種の分布状況を把握。
哺乳類	哺乳類のうち、 コウモリ類の生息 状況の把握	捕獲調査	ハーブトラップ、カスミ網による捕獲調査 を実施し、外観的形質から種を判別。
	リニア事業による 改変地及び周辺の 哺乳類相の把握	定点での自動 撮影調査及び 捕獲調査	定点で自動撮影装置を設置し、撮影された 情報をもとに哺乳類相を記録。小型哺乳類 についてはトラップによる捕獲調査を実 施。また、他項目の現地調査時に確認した フィールドサイン（FS）の結果も任意調査 として実施。
両生類	両生類のうち、 サンショウウオ類 の生息状況の把握	環境DNA分析	採水した水試料からDNAを抽出し、サンシ ョウウオ類が生息する可能性についてデー タ解析を実施。
淡水魚類	イワナ類の生息状 況の把握	採捕調査 遺伝子解析	釣りによる採捕調査を実施し、同時に捕 獲。イワナ類の鰭サンプルを採取・遺伝子 解析により種の同定を実施。また、令和5 年に捕獲したイワナ類の鰭サンプルについ ても遺伝子解析を実施。

※重要種：文化財保護法、種の保存法及び環境省・静岡県版レッドリスト掲載 種、国立公園指
定植物から市が本調査において重要と位置付けた種を示す。

※指標種：上記重要種及びその他の種のうち平成27年度南アルプス動植物環境調査よりモニタリ
ング対象とした種を示す。

3) ライチョウの生息状況把握調査

① 調査内容

目視調査、痕跡調査

② 調査場所

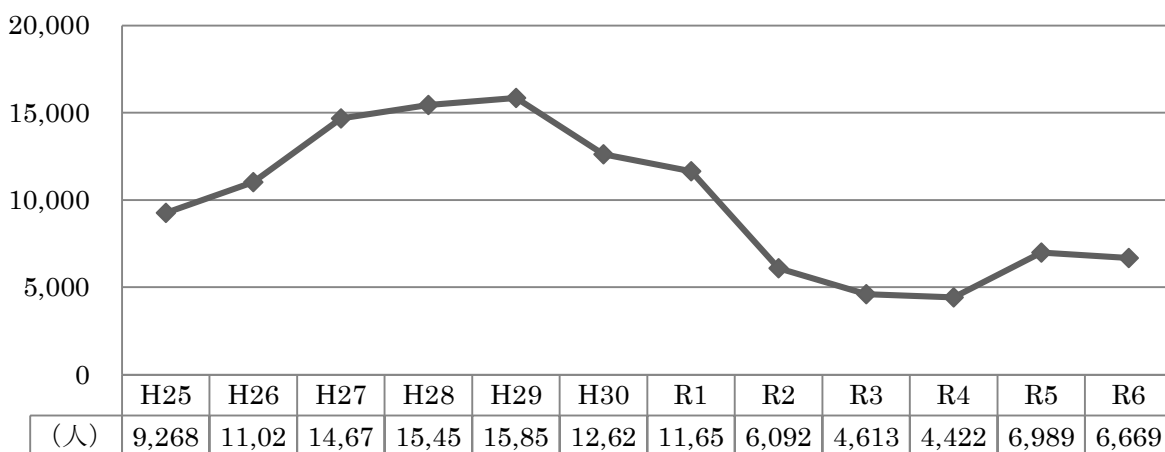
南アルプス南部（上河内岳～イザルガ岳周辺）

③ 調査結果

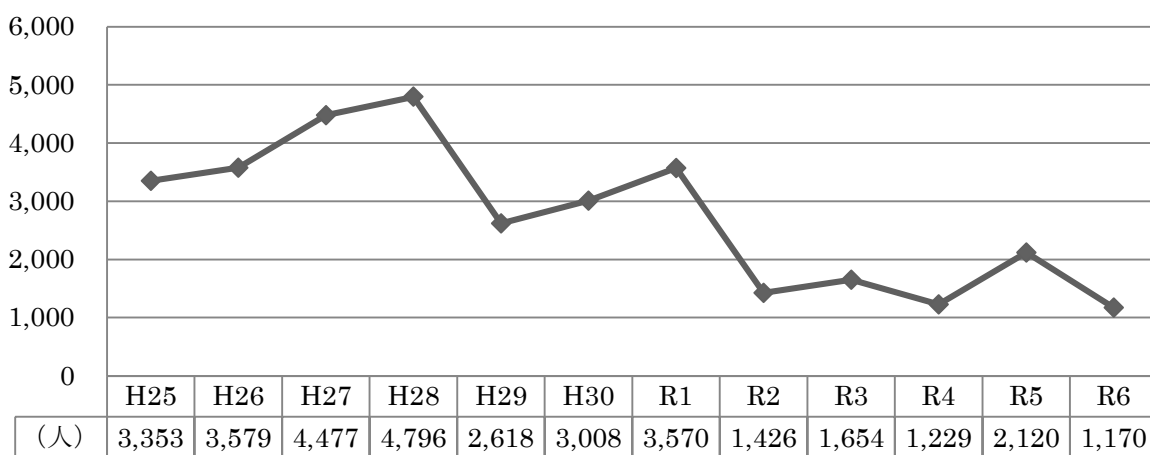
仁田岳で1つ、茶臼岳で3つのなわばりが確認された。

4) 環境教育・学習の状況

① 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家利用者数



② 静岡県「県民の森」利用者数



5) 伝統文化等の保存状況

① 県指定文化財

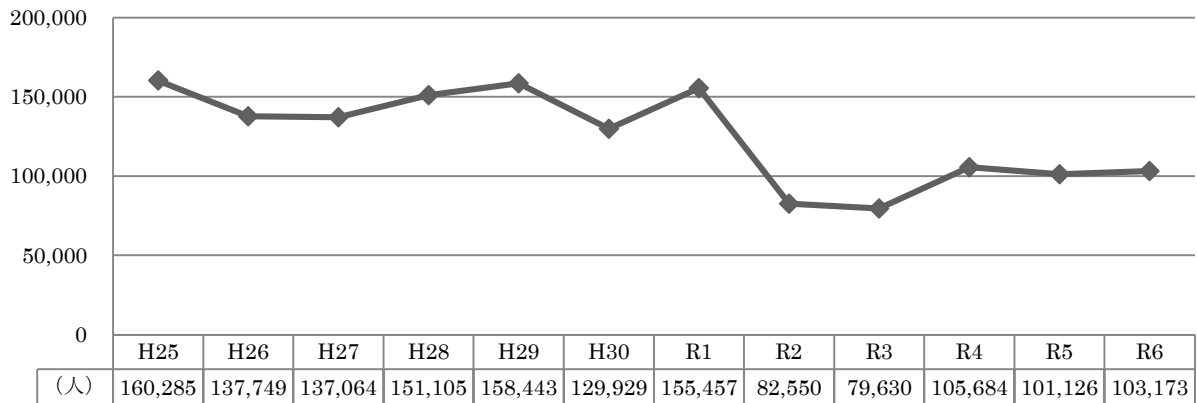
種別	区分	名称	指定日	所在地	所有者
有形文化財	彫刻	木造千手観音立像 ほか3 軀附 1 軀	H17. 11. 29	葵区井川 中野観音堂	観音堂別当
民俗文化財	無形民俗文化財	ヤマメ祭	H17. 11. 29	葵区田代	諏訪神社氏子会

② 市指定文化財

種別	区分	名称	指定日	所在地	所有者
有形文化財	建造物	田代の一間造りの 民家	H11. 6. 21	葵区田代	個人蔵
有形文化財	工芸品	鰐口	H20. 3. 26	葵区井川	中野観音堂

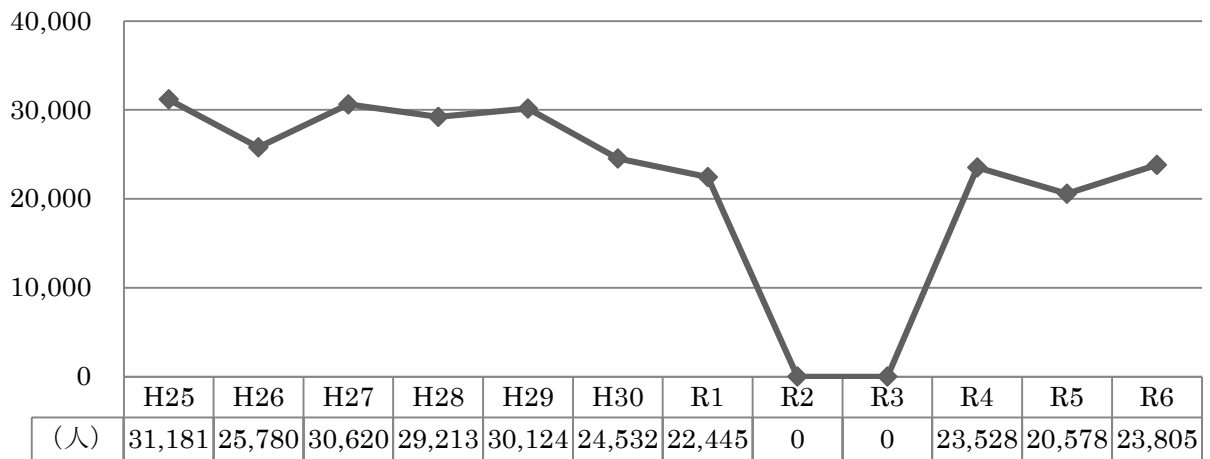
6) 観光振興等の状況

① 井川地区内・施設入込客数



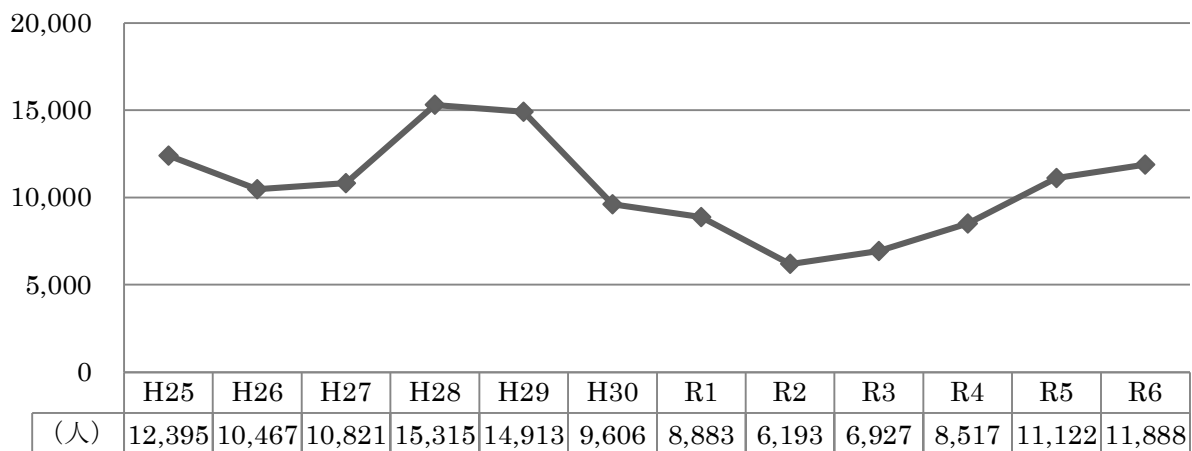
② 主要施設等利用者数

ア) ロッジ、山小屋等利用者数

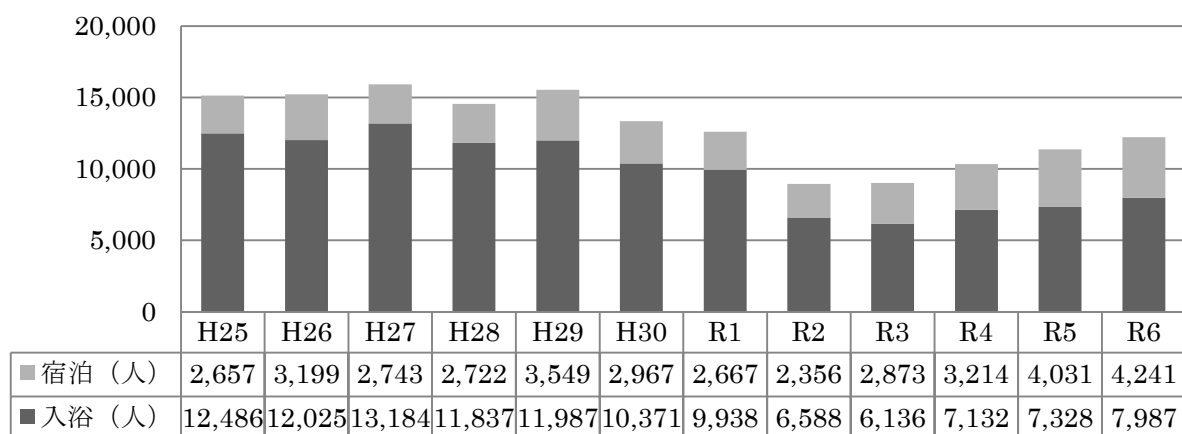


※令和2、3年度：新型コロナウイルス感染症の影響により休業

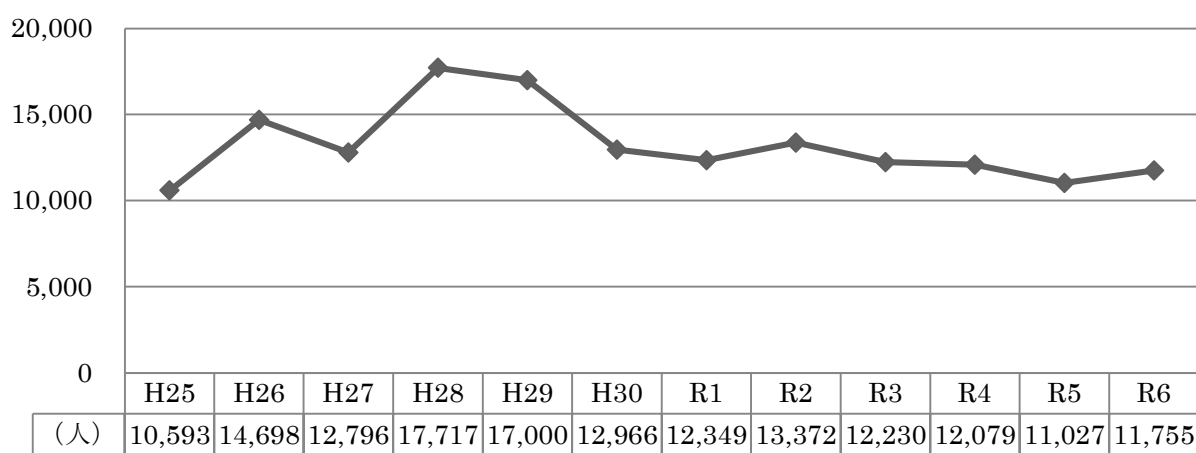
イ) 南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター利用者数



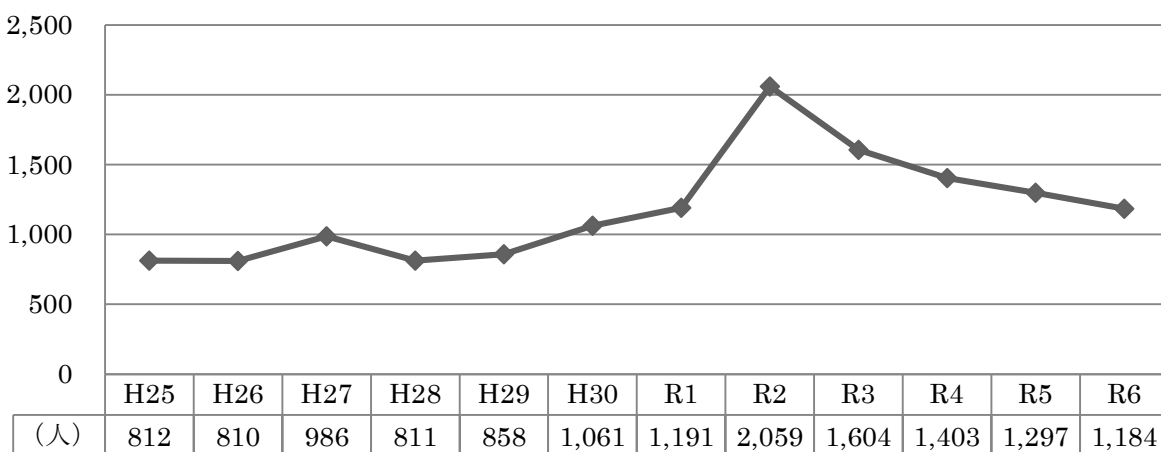
ウ) 南アルプス赤石温泉「白樺荘」利用者数



エ) リバウエル井川スキー場利用者数

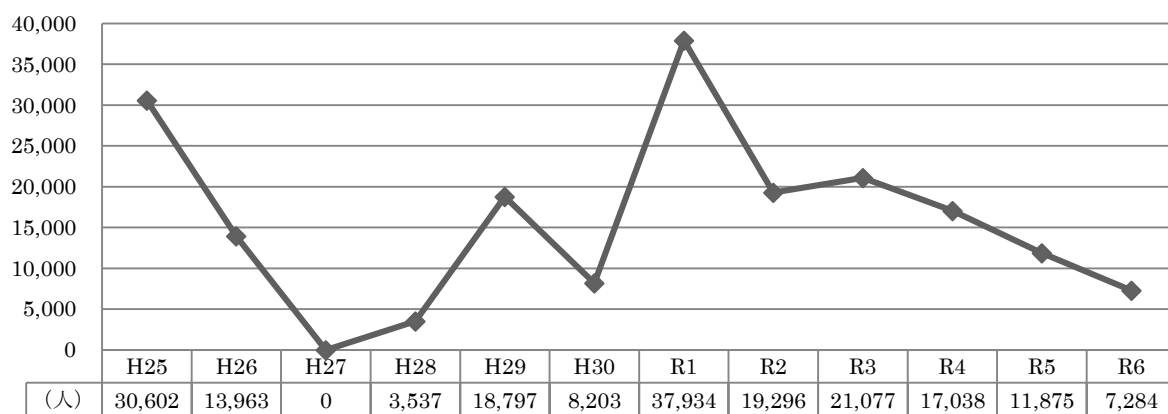


オ) 南アルプス井川オートキャンプ場利用者数



③ 交通機関利用者数

ア) 大井川鐵道（井川駅）利用者数



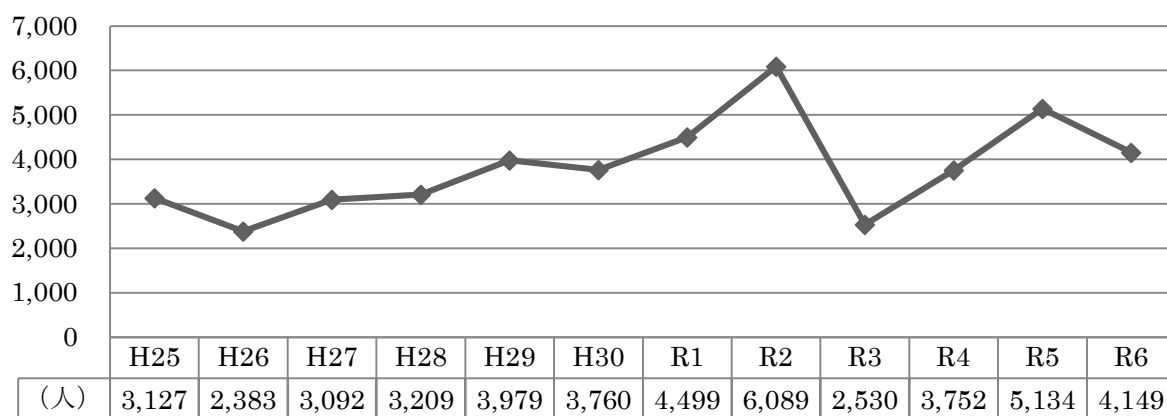
※平成26年9月2日～平成29年3月10日：接岨峡温泉駅－井川駅間 運休

※平成30年5月8日～平成31年3月9日：閑蔵駅－井川駅間 運休

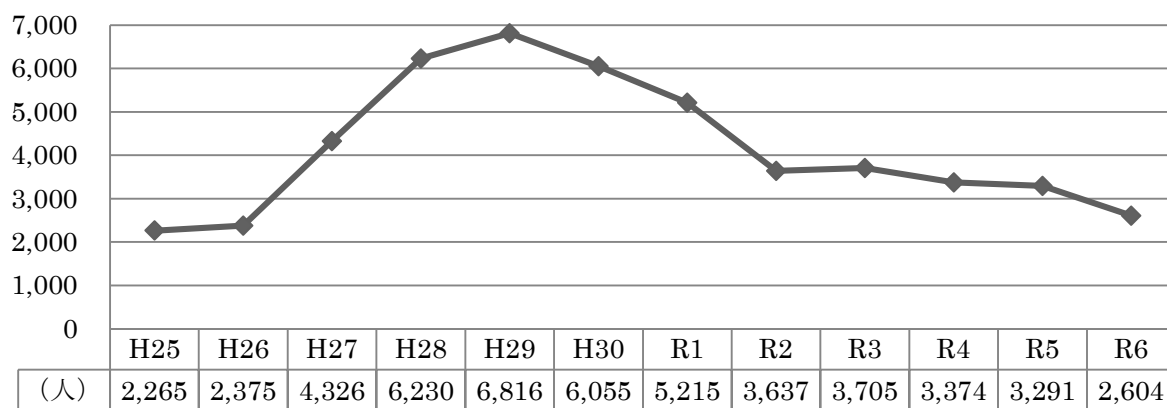
※令和4年9月～現在：川根温泉笹間渡駅－千頭駅間 運休

※令和6年1月13日～令和6年5月31日：接岨峡温泉駅－井川駅間 運休

イ) 井川湖渡船利用者

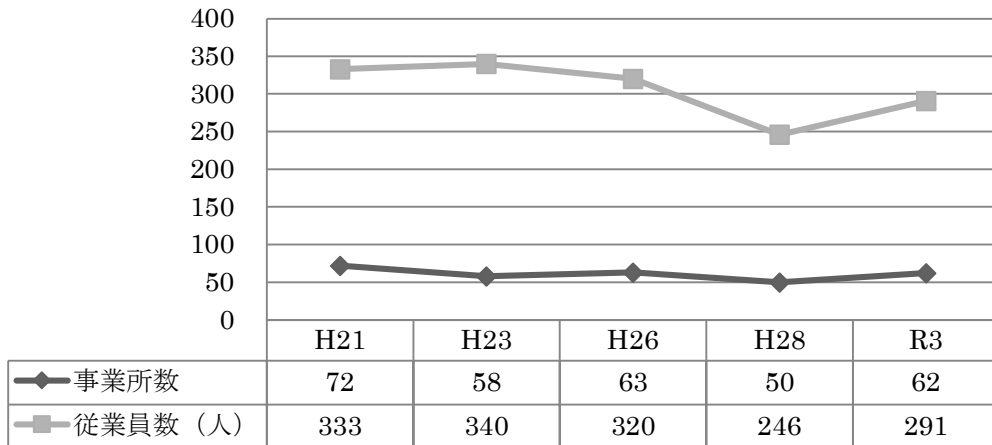


ウ) 井川地区自主運行バス利用者数



7) 産業振興の状況

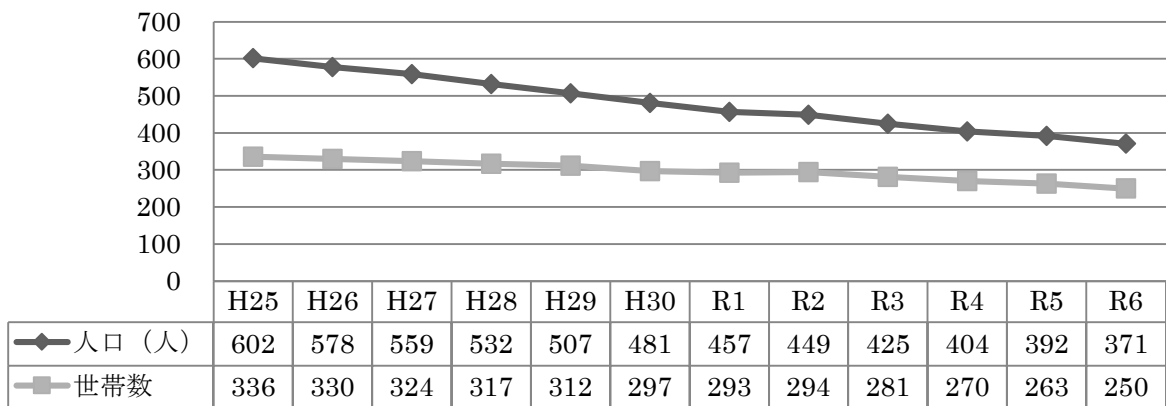
① 井川地区事業所数及び従業員数



※H21. 7. 1、H26. 7. 1 : 経済センサス基礎調査 (5年ごと) ※R1町丁別データ無
H24. 2. 1、H28. 6. 1、R3. 6. 1 : 経済センサス活動調査 (5年ごと)

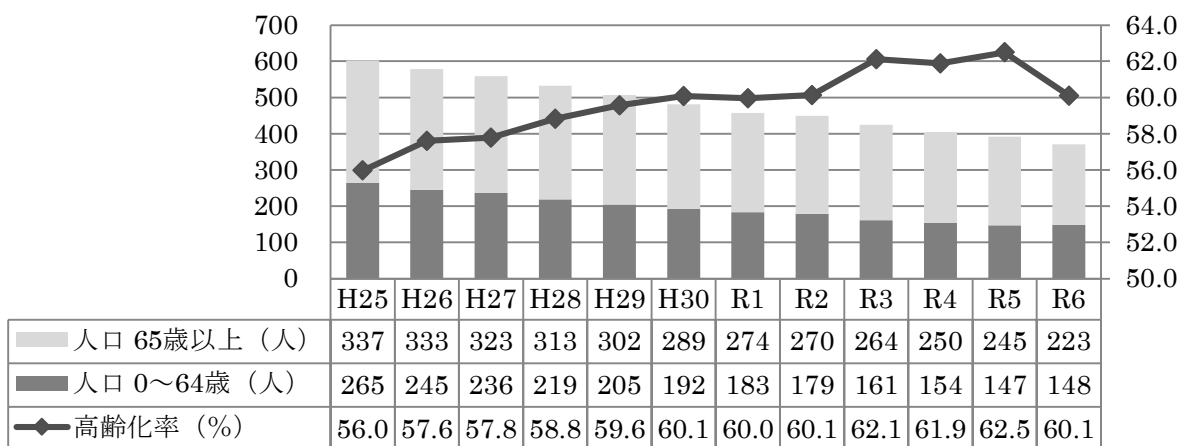
8) 地域を取り巻く環境

① 井川地区の人口及び世帯数



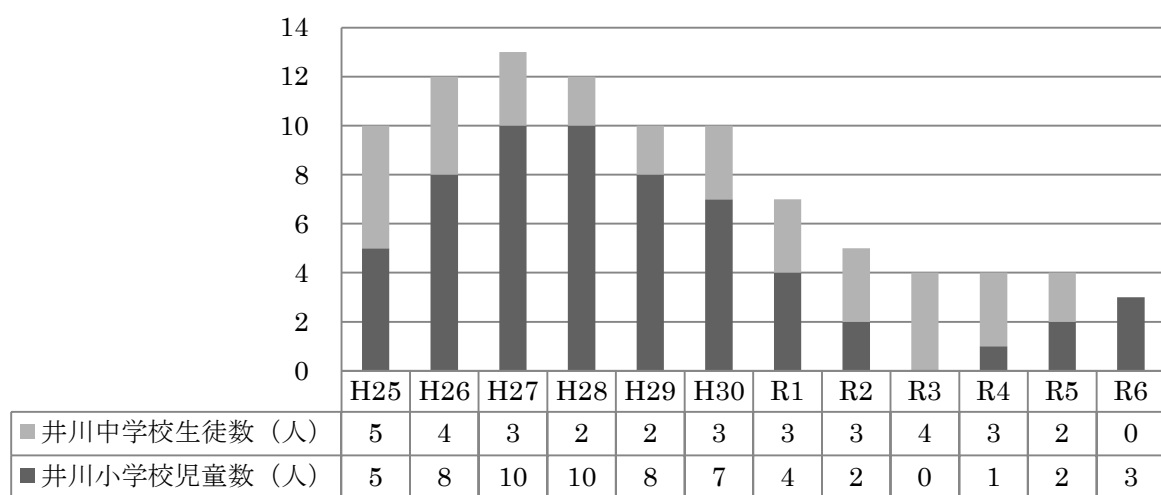
※各年 9 月 30 日現在

② 井川地区の高齢化率



※各年 9 月 30 日現在

③ 静岡市立井川小中学校 児童・生徒数



※各年5月1日現在

6 後期実行計画 総合分析

静岡市南アルプスユネスコエコパーク事業の推進にあたっては、静岡市環境政策連携統括会議において、関係局等の連携の確保及び総合的な調整を行います。

同会議の関係局が所管している事業について、各局が令和6年度を取組を分析し、それを総合的に分析した結果（課題の抽出とその改善策・今後の方向性）を以下のとおり示します。

令和6年度を取組	P 3～29「令和6年度を取組内容」のとお
----------	-----------------------

評価指標の状況	<p>7項目のうち、6項目が令和6年度において目標達成又は概ね達成となり、1項目が要調整となった。</p> <p>なお、評価指標の基準年度は、7項目すべて令和4年度である。</p>
---------	--

基本方針の柱	計画の実行に係る課題	改善策・今後の方向性
1 自然環境の保全	<p>① 中央新幹線建設事業の実施に伴い、工事の進捗状況や過去の調査結果をふまえた調査規模、調査地区等の適正な選定が必要とされる。【環境局】</p> <p>② 南アルプスの自然の象徴である高山植物と、希少なライチョウの保護を拡大するために、市民への周知・啓発及び市民が参加できる施策の展開が必要である。【環境局】</p>	<p>① 工事の進捗状況を踏まえつつ、引き続き動植物調査を実施し、調査結果をもとに事業者へ情報提供を行い、必要に応じて指導・要望等を行う。</p> <p>② 市内高校生を対象とした「高山植物保護セミナー」を継続的に実施し、将来の活動の担い手育成を図るとともに、ライチョウサポーターに対する情報提供の呼びかけや他地域のライチョウサポーター活動との連携した事業を実施する。</p>
2 調査と教育	<p>① 次世代エネルギーパークについて、市内外で認知度を向上させ、教育拠点として効果的に活用する必要がある。【環境局】</p> <p>② 南アルプスの自然環境に関する情報発信や、観光・登山情報の提供など、井川地域内の各施設で、来訪者のニーズに応じた案内が必要である。【環境局】</p> <p>③ データ版として、より使いやすく、情報を得やすい副読本の作成が必要である。【教育局】</p>	<p>① 小中学校、脱炭素に興味のある企業を対象とした見学対応を見据え、引き続きパンフレットや出前講座で市内外へ広くPRする。</p> <p>② 井川ビジターセンターやミュージアムなどの施設の在り方について、関係各課、地域住民・団体と共有しつつ、地元雇用の観点も踏まえて安定した運営について協議していく。</p> <p>③ 関係課や施設、団体等への取材を通して情報を更新したり、HP等とつながるようにしたりしていく。</p>

<p>3 地域の持続的な発展</p>	<p>① 移住・定住促進に向けて、関係課や関係機関と連携した取組や情報共有、ターゲットごとの情報発信が必要である。【総合政策局】</p> <p>② ダム湖の水位低下による運休等といった限られた運航条件下で、井川湖渡船の乗船客数を安定的に確保する必要がある。【市民局】</p> <p>③ 廃線小路において、転落防止柵やベンチ等の老朽化した木製施設の改修が必要である。【市民局】</p> <p>④ 地域住民及び団体が地域課題を認識し、地域課題の解決に向けた取組等を主体的に実施できる体制を整備していく必要がある。【葵区役所】</p> <p>⑤ 無形民俗文化財の保存団体の構成員の高齢化により、新規構成員の早急な獲得が課題である。【観光交流文化局】</p> <p>⑥ 南アルプスに関する情報を広く地域内外に届けるため、ホームページやSNS等の媒体を有効に活用し、最新情報を提供する必要がある。【環境局】</p> <p>⑦ 移住希望者数に対し、空き家情報バンク登録件数が少なく、需給バランスがとれていない。【環境局】</p> <p>⑧ 井川地区自主運行バスの運行について、令和6年度以降は、JR東海が実施する道路トンネル工事の工事用車両増加に伴い、運行への影響が懸念される。【都市局】</p> <p>⑨ 道路改良やトンネル補修、自然災害防除、橋りょうの耐震化・健</p>	<p>① 移住相談員との定期的な情報共有をはじめ、関係課との横断的な取組や、民間事業者等との連携による相談会を実施する。</p> <p>② シンボルマークを活用した井川湖渡船のプロモーションやSNSを活用した情報発信のほか、地域住民や関係企業と連携したイベントを実施することで渡船の利用を促進する。</p> <p>③ 定期的な現場状況調査や、劣化施設の修繕を行うとともに、施設修繕計画の見直しを図る。</p> <p>④ 自治会連合会の取組への参画者を増やし、持続力ある住民主体のまちづくりを推進するとともに、他地域との連携による地域課題解決に向けた取組を支援する。</p> <p>⑤ 大神楽祭を継続的に実施し、無形民俗文化財に興味を持つ方を増やし、さらには実際に参加する方を確保できるよう努めていく。</p> <p>⑥ 地域住民や事業者等と連携したコンテンツ制作など、ホームページの充実を図るとともに、SNSを積極的に更新することで広く地域内外に情報発信する。</p> <p>⑦ 空き家情報バンクの所管課である住宅政策課や、設立された一般財団法人と連携しながら、サブリース等による更なる空き家利活用を進めていく。</p> <p>⑧ 路線バス（横沢バス停）、大井川鐵道（井川駅）及び井川湖渡船との乗継や管理事務所の移設及び工事用車両の増加等を考慮した運行形態・運行ダイヤの見直しを行い、利便性及び回遊性の向上を図る。</p> <p>⑨ 県道三ツ峰落合線及び主要地方道南アルプス公園線のトンネル新設にあたり、</p>
---------------------------	---	--

	<p>全化事業の実施には、測量、設計及び地権者等との交渉、用地処理などに時間を要し、交通規制に伴う道路利用者の影響も大きい。</p> <p>【建設局】</p> <p>⑩ 消防体制の維持や災害対応に必要な技術・知識を習得するための連携訓練を継続的に実施する必要がある。また、山岳救助連携の強化や、樹林帯における活動拠点を整備する必要がある。【消防局】</p>	<p>事業者と連携・協力し早期完成を目指す。トンネル補修や自然災害防除、橋りょうの耐震化・健全化には、道路利用者との合意形成や道路パトロール、点検等により利用者の安心・安全を維持する。</p> <p>⑩ 修繕工事や訓練等を計画的に実施し、災害対応力の強化、技量向上を図る。また、ヘリコプターの活動拠点について、地権者との調整や定期的な調査を行い、安全性、有効性を考慮した拠点の変更、追加及び削除を行う。</p>
4 理念の継承と管理運営体制の構築	<p>① 観光客のニーズに合わせた観光商品の充実や新たな体験プログラムの開発、既存体験プログラムの掘り起こしなどを行い、それらの効果的なプロモーションを実施する必要がある。【観光交流文化局】</p> <p>② ユネスコエコパークの理念や取組について地域住民の意識醸成が必要である。【環境局】</p> <p>③ 海外への情報発信や国際対応が不足している。【環境局】</p>	<p>① ニーズの聞き取りを行い、今後本市が充実させるべき観光商品を分析する。</p> <p>② 関係各課や地域住民、事業者等と連携した啓発事業を実施する。</p> <p>③ 南アルプスユネスコエコパークミュージアムを拠点として、関係課や民間企業等と連携した海外への情報発信を図る。</p>

(参考) 各事業の令和6年度事業計画及び実施結果

No.	事業名	基本方針 の柱	令和6年度事業計画	事業実施結果	所管課	頁
1	移住希望者向け情報発信事業	3	・移住支援センター運営 ・移住フェア・セミナー開催 ・Webサイト等での発信	・移住支援センター運営 ・移住フェア・セミナー開催 ・Webサイト等での発信	企画課	18
2	井川湖渡船運航事業	3	・渡船運航 ・イベント参加者満足度95%以上	・渡船運航 ・イベント参加者満足度97%	井川支所	25
3	廃線小路維持管理事業	3	・広報・PR活動 ・維持管理	・広報・PR活動 ・維持管理	井川支所	27
4	葵区魅力づくり事業	3	・地域住民と打ち合わせ ・地域課題の聴取 ・事業の協働実施	・地域住民と打ち合わせ ・事業の協働実施	葵区役所 地域総務課	15
5	観光プロモーション事業	3, 4	・観光展等への出展 ・観光案内所へのパンフレット配架	・観光展等への出展 ・観光案内所へのパンフレット配架	観光政策課	12
6	無形民俗文化財の公開事業	3	・大神楽祭2025の実施 目標来場者数2,000人	・大神楽祭2025の実施 来場者数2,650人	歴史文化課	24
7	中山間地域への再生可能エネルギー導入促進事業	3	・まちづくりモデルの推進	・まちづくりモデルの推進	G X 推進課	21
8	南アルプス環境調査事業	1, 2	・モニタリング調査 ・発生土置き場予定地植生調査	・モニタリング調査実施 ・発生土置き場予定地植生調査実施	環境共生課	6
9	静岡市森林環境アドプト事業	3	・清水区中河内地区における森林整備	・清水区中河内地区における森林整備	G X 推進課	22
10	静岡市次世代エネルギーパーク推進事業	2	・普及啓発、活用推進	・普及啓発、活用推進	G X 推進課	13
11	高山植物保護事業	1, 2	・防鹿柵設置、維持管理 ・担い手育成	・防鹿柵設置、維持管理 ・高山植物保護セミナーの実施	環境共生課	4
12	ライチョウ保護事業	1, 2	・生息状況把握調査 ・普及啓発事業の実施 ・ライチョウサポーター制度の運用	・生息状況把握調査 ・普及啓発事業の実施 ・ライチョウサポーター制度の運用	環境共生課	5
13	普及啓発事業	3, 4	・構成市町村連携による情報発信 ・イベント等出展回数10回	・構成市町村連携による情報発信 ・イベント等出展回数13回	環境共生課	18
14	南アルプス情報発信事業	3, 4	・HPによる情報発信 ・井川地域の魅力発見 ・南アルプス南部登山関係情報の発信	・HPによる情報発信 ・井川地域の魅力発見 ・南アルプス南部登山関係情報の発信	環境共生課	17
15	南アルプス教育推進支援事業	2, 4	・教育教材の活用 ・南アルプスユネスコエコパーク出前授業の実施	・教育教材の活用 ・南アルプスユネスコエコパーク出前授業の実施	環境共生課	9
16	南アルプスユネスコエコパーク登録周年記念事業	3, 4	・10周年記念事業の実施	・10周年記念事業の実施	環境共生課	19

17	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業	1, 2	・ 専門家等との検討・計画	・ 専門家等との検討・計画	環境共生課	4
18	市民参加型南アルプス自然環境保全事業	1, 2 3	・ 市民生きもの調査ツアーの実施 ・ 森づくりツアーの実施	・ 市民生きもの調査ツアーの実施 ・ 森づくりツアーの実施	環境共生課	6
19	静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業	1	・ HP及び標識による啓発	・ HP及び標識による啓発	森林経営管理課	3
20	南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理事業	1, 3	・ 林道管理 ・ ゲート管理 ・ 林道東俣線改良事業	・ 林道管理 ・ ゲート管理 ・ 林道東俣線改良事業	森林経営管理課	8
21	南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター活用事業	2, 3	・ 情報発信フロア提供	・ 情報発信フロア提供	中山間地振興課	13
22	南アルプス周辺登山道整備事業	3	・ 登山道調査及び修繕 ・ 山小屋調査 ・ 山小屋消防設備点検	・ 登山道調査及び修繕 ・ 山小屋調査 ・ 山小屋消防設備点検	環境共生課	17
23	中山間地域移住促進事業	3	・ 空き家情報の発信 ・ 移住者支援 ・ 補助金交付 10件	・ 空き家情報の発信 ・ 移住者支援 ・ 補助金交付 24件	中山間地振興課	24
24	野生鳥獣被害対策事業	3	・ 野生鳥獣被害防除事業 ・ 有害鳥獣捕獲等	・ 野生鳥獣被害防除事業 ・ 有害鳥獣捕獲等	中山間地振興課	22
25	地域おこし協力隊配置事業	3	・ 隊員の配備 ・ 新規隊員の募集	・ 隊員の配備 ・ 新規隊員の募集	中山間地振興課	15
26	オクシズ元気ビジネス支援事業	3	・ 補助金交付	・ 補助金交付	中山間地振興課	16
27	林業担い手育成対策事業	3	・ 補助金交付	・ 補助金交付	森林経営管理課	23
28	オクシズ漆の里構想事業	3	・ 試験植栽実施 ・ 漆の学校開催 ・ 付加価値向上事業実施	・ 試験植栽実施 ・ 漆の学校開催 ・ 付加価値向上事業実施	中山間地振興課	16
29	井川地区自主運行バス運行事業	3	・ 自主運行バスの運行 (365日稼働)	・ 自主運行バスの運行 (365日稼働)	交通政策課	27
30	静岡市道路休憩施設利用促進事業	3	・ 広報活動	・ 広報活動	道路計画課	26
31	道路改良事業	3	・ 整備箇所の選定 ・ 測量、設計 ・ 工事	・ 整備箇所の選定 ・ 測量、設計 ・ 工事	道路計画課	27
32	道路トンネル補修事業	3	—	—	道路保全課	27
33	道路自然災害防除事業 (法面)	3	・ 点検、測量・設計 ・ 用地買収・補償 ・ 対策工事	・ 災害防除工事	道路保全課	27
34	橋りょうの耐震化及び健全化事業	3	・ 点検、調査、設計 ・ 補修工事	・ 橋梁の耐震化 ・ 橋梁の健全化	道路保全課	28

35	千代田消防署井川出張所 維持管理事業	3	・庁舎の維持管理 ・宿舍の設計、建設工事	・庁舎の維持管理 ・宿舍の設計、建設工事	財産管理課	28
36	山岳救助体制整備事業	3	・山岳救助体制の充実 ・山岳救助支援員の指名	・各種訓練実施 ・山岳救助支援員の指名及び出動	安全対策課	28
37	ヘリコプター南アルプス 活動拠点指定事業	3	・新規レスキューポイント のマーキング作業	・延期 ※R7実施予定	警防課	29
38	自然体験活動指導者育成 講座事業	2, 4	・育成講座の実施	・育成講座の実施	井川自然の家	10
39	南アルプスユネスコエコ パーク井川自然の家主催 事業	2, 3, 4	・主催事業の実施	・主催事業の実施	井川自然の家	10
40	学校教育との連携による 野外活動、宿泊指導等の 自然体験活動提供事業	2, 4	・自然体験活動の提供	・自然体験活動の提供	井川自然の家	11
41	南アルプスユネスコエコ パーク井川自然の家PR 活動事業	2, 3	・PR活動の実施	・PR活動の実施	井川自然の家	13
42	社会科副読本との連携事 業	2, 4	・社会科副読本のデジタル 版作成（改訂） ・クロムブックでの閲覧環 境整備	・社会科副読本のデジタル 版作成（改訂） ・クロムブックでの閲覧環 境整備	教育センタ ー	12

南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画（静岡市域版）
後期実行計画 年次報告書（令和６年度）

発行年月 令和８年１月

発 行 静岡市環境局環境共生課
静岡市葵区追手町５番１号

電話 ０５４-２２１-１３５７ FAX ０５４-２２１-１４９２

E-mail kankyou-kyousei@city.shizuoka.lg.jp

URL <https://www.city.shizuoka.lg.jp/s6347/s001551.html>